

令和3年度

京都市立醍醐中学校

学校だより

第9号

令和3年10月27日 文責 林



自分自身を見つめる

10月1日（金）から緊急事態宣言が解除され、少しずつ「日常」が戻ってきています。新型コロナウイルス感染症の感染者数は減少してきていますが、引き続き感染対策は必要です。マスクの着用や手洗いの励行、三密の回避などご家庭でのご協力もお願いいたします。

学校生活では、醍中祭（学校祭）の文化の部と体育の部が10月6日（水）、7日（木）に開催し、生徒の笑顔が見られたのはうれしかったです。

今年度も下半期に入りました。3年生は、いよいよ進路選択の時期が近づいてきました。そこで「自分自身を見つめる」ことについて考えたいと思います。人間には、一人一人に考え方の習慣があると言われる。その習慣を崩されそうになると不快になり、相手を攻撃しがちになります。考え方の習慣が積み重なることによって各自の価値観ができあがっていくのでしょうか。ですから自分の価値観が正しいと思いがちです。よく物事を「こうあるべき」と考えますが、これも価値観の表われでしょう。しかし、各自それぞれの価値観があるわけですから相手と対立が起こり得ます。「自分自身を見つめる」ために、まず自分の価値観を問い直してほしいのです。相手の価値観も柔軟に受け入れ、自分の価値観と比べてほしいのです。そして、「あっ、そうか」と思う部分を大切にしてください。自分の価値観と違った価値観を柔軟に受け入れることで考え方の幅も広がるのではないのでしょうか。同じような価値観をもつ人と一緒にいると安心ですし、心地よいでしょう。しかし、それでは考え方の幅が狭いまです。

「自分自身を見つめる」ためには広く俯瞰（ひかんと）することも必要です。広く自分自身を見つめることにより、新しい自分を発見できることがあります。「自分にはこんな力があったんだ」とか「自分はこんなことに興味があったんだ」などの発見です。新しい自分を発見することで将来への可能性が広がります。ぜひ「自分自身を見つめる」ことを実行してください。

修学旅行とチャレンジ体験

3年生の修学旅行と2年生のチャレンジ体験が近づいてきました。修学旅行は、10月31日（日）から2泊3日で実施します。2年生のチャレンジ体験は、11月1日（月）から4日間実施します。

修学旅行は、5月に沖縄を訪れる予定をしていました。3年生は、修学旅行に向けて事前学習で沖縄について調べ、模造紙に調べた成果を発表してくれました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期を余儀なくされてしまい残念でした。その後、行き先を富士五湖方面に変更して実施することにしました。思い出に残る修学旅行になることを願っています。雄大な富士山の麓で自然が織りなす風景を全身で感じ取り、カヤックやマウンテンバイクの体験学習で心身を開放して、自然の息吹や鼓動を味わってください。

チャレンジ体験は、多くの事業所の方々にご協力いただき実施します。「働くこと」を体験して、働くことの意義や喜び、しんどさを感じ取ってください。また、ひとつの仕事が一人の力で成り立っているのではなく、多くの人の力によって成り立っていることにも注目してほしいものです。一人一人の力がどのように組み合わさっているかを観察してください。以前、私が担任していたクラスの生徒の表情がチャレンジ体験が始まる前と終わった後では、まったく違っていたことを思い出します。明らかに表情が引き締まっていたのです。そして、その後の学校生活でチャレンジ体験の経験がいろいろな場面で活かされたと実感していました。規則正しい生活を送るなど体調管理をしっかりして有意義なチャレンジ体験にしてください。

修学旅行やチャレンジ体験に向けて、保護者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

（裏面もご覧ください）

醍中祭（学校祭）

10月6日（水）と7日（木）に醍中祭（学校祭）を実施しました。

10月6日（水）は、文化の部の展示鑑賞と映像観賞を行いました。まず、展示鑑賞は各教科の作品や美術部の作品を学年ごとで鑑賞しました。作品は、生徒の個性が輝く作品が多く、鑑賞していた生徒は興味深く、熱心に鑑賞していました。午後は、映像観賞です。生徒会によるオープニングに始まり、1年生学年劇、2年生学年劇、3年生学年劇と続きました。最後はエンディングで締めくくりました。生徒会によるオープニングは観ている者を朗らかにする内容でした。各学年の学年劇は、事前に収録、編集しました。どの作品もキャストの演技力もさることながらキャストとスタッフの連携の良さを感じました。また、メッセージ性にも富んだ作品でした。テレビドラマを見ているような感覚もありました。鑑賞している教室では、生徒が熱い眼差しで鑑賞していました。エンディングも心温まるものでした。

10月7日（木）は、体育の部を実施しました。感染対策を徹底して、競技種目をしぼって開催しました。開会式、100m走、ハードル・ネットくぐり・麻袋ジャンプ走、部活動対抗リレー、大縄跳び、全員リレー、閉会式とプログラムは、進みました。開会式では、各クラスの学級旗が囲む中での選手宣誓、全校生徒によるリズムに乗った準備体操が印象に残りました。競技種目では、大縄跳びと全員リレーが盛り上がりました。大縄跳びは各クラス男女2グループ、計4グループに分かれて跳んだ回数を競いました。クラスの団結力が試される競技で、生徒は懸命に跳んでいました。全員リレーは、クラス全員でバトンをつなぐリレーで目まぐるしくトップが入替わり、最後まで手に汗を握る展開でした。どの生徒も真剣な表彰でトラックを駆け抜けました。

できることをできる範囲で開催した醍中祭（学校祭）でしたが、生徒の笑顔があふれていました。



生徒会役員選挙

10月11日（月）から生徒会本部選挙の選挙運動期間に入りました。朝、登校時に校門前で立候補者と応援弁士が投票の呼びかけをしました。

その後、10月20日（水）にオンラインによる演説会と各クラスで投票を行い、新しい生徒会本部役員が決まりました。醍醐中学校は、伝統的に生徒会活動がさかんな学校です。いつも言っていることですが、「生徒会活動が元気な学校は、学校全体が元気」です。新生徒会本部役員と全校生徒が力を合わせて生徒会活動をさらに活発にしたいと願っています。

10月22日（金）には、生徒会本部役員の新旧引継が行われ、新しい生徒会本部が始動しました。